

幌東中学校



Thanks Mail

白石消防署

このたびは私たちのために、貴重なお時間をさい
てご指導いただき、本当にありがとうございました。
今回の職場体験をとおして、わたしは、人の命
を助けることは自分も命がけなんだということ
を学びました。また、1分もかからないで出勤す
るということはとてもすごい事だなと感動しまし
た。これから、人の命の大切さを忘れずに、毎日の
学習に力を入れていきたいと思います。

2年 K・I

ケーキショップの舞台裏で 包装や接客を体験

イタリアントマト ケーキショップ イーアス店

大型ショッピングセンターの中に
ある「イタリアン・トマト ケーキ
ショップ」で、ケーキの包装や接客を
体験したのは女子生徒3人。パティ
シエに興味があったり、家でもお菓子
作りをするという3人は、美しく並ぶ
ケーキに興味が沸きました。

まず、ケーキ工場から届いたケーキ
をカットして、フィルムで包装する裏
方の仕事を体験します。カットする位
置にお店の方が印をつけ、生徒たちが
ナイフを使って慎重にカットします。
そして、カットしたケーキを一つずつ
丁寧にフィルムに包んでいきますが、
フィルムにクリームがつきそうになっ
たり、タルトの底が滑ったりと、なか
なか思うように包めません。お店の方
にアドバイスしてもらったり、自分たち

でもうまく包む方法を相談しながら、
何度もやり直します。ケーキがおいし
く見えるかどうかは、包装の出来栄え
にも左右されるとお店の方に教えら
れ、手際よりも美しさを心がけて、な
んとか作業を終えました。

接客では、注文を受けてケーキを箱
に詰めていきます。ケーキが崩れな
いように慎重にトングを扱い、詰め終
えた箱の中をお客様に見せて確認し
てもらいます。緊張の連続で作業を
進める中、「ありがとう」と微笑むお
客様の顔を見て生徒たちもホッとし
た表情を浮かべました。

ケーキを美しく、おいしそうに見せ
る工夫もサービスのひとつであるこ
とを学んだ、ケーキショップの体験で
した。



はしご車の乗車や放水体験で 消防の「勇気」と「力」を経験

白石消防署

防火・防災に関する知識や災害時
の行動を学べる「札幌市民防災セン
ター」が併設されている白石消防署
で、6人の生徒が消防の仕事の一部を
体験しました。迫力ある消防車の姿
を間近に見ながら「ポンペを背負う」
「ホースで放水する」「はしご車に乗
る」という、3つの作業に挑戦します。

最初は、ポンペを背負ってみてそ
の重さを体験。この重たいポンペを
背負ったままで作業することを考え
「大変な仕事なんだ…」と、仕事の厳
しさを実感していました。次の放水
体験では、水圧に負けそうになりなが
ら2人1組で必死にホースを支えて、
ペットボトル的に水を当てました。
生徒たちは想像以上の水圧の強さを

知り、軽々とホースを扱う職員の方々
を尊敬の眼差しで見えています。

最後は、はしご車の乗車体験です。
ヘルメットをかぶり、命綱をつけて乗
り込みます。26メートルまで上昇す
るはしごは、ビルの8階まで届くほど
の高さです。延びていくはしごから
手を降る余裕のある生徒もいれば、
ちょっと緊張気味な表情を浮かべる
生徒も。この日は晴天。26メートル
の高さからは、札幌市内を一望するこ
とができました。

3つの訓練を通じ、体力と勇気が必
要な厳しい仕事だということを実感
したと同時に、自分たちの安全を守っ
てくれている職員の方々に、感謝の気
持ちは芽生えた体験となりました。



センスと感性を生かした写真撮影 思い出のアルバムを編集

(有)札幌映像社

札幌映像社は、証明写真や卒業アル
バム、結婚式の撮影などを行う写真ス
タジオです。今回は、男子生徒4人が
仕事の体験にやってきました。

スタジオ内でお互いの証明写真を
撮影して少しカメラに慣れた後に、自
分で被写体を選んでの撮影に挑戦し
ました。「高価なカメラだと聞いて、
扱いに少し緊張します」と、プロ用の
重たいカメラを抱えながら外に出て
いきます。花や空などの自然の姿や、
友達の様子、街の景色や建物など、感
性の赴くままにシャッターを押して、
たくさんの写真を撮影しました。

スタジオに戻って写真をプリント
してもらい、撮影した写真を使ってアル
バムの編集を行ないます。アルバ

ム編集は2時間の時間制限付き。4
人はお互いの写真にワイワイと意見
を言い合いながら、それぞれ10枚ず
つ写真を選びました。それから並べ
る順番を決めて台紙に貼り付け、アル
バムを見る人のことも考えて説明も
加えていきます。ところが、最初の写
真選びに時間をかけたせいか、あっ
という間に制限時間が迫ってしまい
ました。後半の編集作業は急ピッ
チでアルバムを仕上げるために、4人
は黙々と手を動かすことに専念して
いました。

苦労して作ったアルバムは、自分だ
けのオリジナル。大切に抱えて
ステキな思い出を持ち帰ることがで
きました。



日章中学校



Thanks Mail

(株)ジェイコム札幌

今回の職業体験では、J:com札幌さんの職員の皆様がどのような仕事をしているのかがよくわかり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
 そちらでは、『TV番組』をどうやってつくるのか、インターネットや電話、J:comさんのサービスなどをどうやって各家庭に届けるのか、またJ:com札幌さんという会社は、どういう仕組みの組織なのか、などJ:comさんの行う「仕事」というものの、などJ:comさんの行う「仕事」というものの職業体験学習で「働く」ということに興味を持ちました。この度は、大変お世話になりました。
 1年 G・S

「ありがとう」の言葉に手応え 誠実に向き合えば気持ち伝わる

白石区役所

「時々、態度や話し方を注意されるので、今日はきちんと振る舞えるようがんばりたい」と、背筋を伸ばし、緊張した面持ちで案内窓口に入った3名の男子生徒。白石区役所で、訪れた方々を目的の場所まで案内する仕事に挑戦します。

事前に正しい言葉遣いとお辞儀の仕方を教わり、いよいよ実践です。職員の方は「区役所にはいろいろな年代の方や、障害のある方もいらっしゃいます。この体験を通して思いやりのある対応ができるようになってほしいですね」と、生徒たちを見守ります。コピー機まで年配の方を案内した生徒は、機械の使い方も尋ねられ、コピーのお手伝いをしました。初対面の方への対応と、慣れないコピー機

の操作にドキドキしていたようですが、その必死な姿に来庁者の方も温かな目を向けてくださいました。ほかの生徒たちもお手洗いや各種手続の窓口など、不安そうな足取りで案内します。

対応を終える度にほっとした顔になる3名に感想を聞くと「あがってしまい、教えてもらったお辞儀をうまくできなかったのが残念」「上手にできなかったけれど、ありがとうと言ってもらえて嬉しかった」「普段接することのない年代の人がたくさん来るので、相手のことをよく考えて行動しなくてはいけないと思った」と、はにかみながら答えてくれました。相手を思いやることの大切さや、丁寧に接することの意味を実感できたようです。



かわいい園児たちとの触れ合いで育った、 深い愛情と細心の注意力

学校法人
大藤学園
本郷幼稚園

「笑顔で優しく接しよう」という意気込みで男女8名の生徒が向かったのは、園児たちの元気な声が響く本郷幼稚園。2名ずつ4組に分かれ、園児たちのお世話やお遊戯会の練習を見学し、楽しい時間を過ごしました。

年少のぺんぎん組を訪れた男子生徒2名は、園児たちに囲まれてブロック遊びの相手をしつつ「話し方も仕草もかわいい」と目を細めます。あひる組で人気者になった女子生徒たちは「並ばせたり静かにさせるのは大変。でも、注意をちゃんと聞いてくれて嬉しかった」「人見知りせず懐いてくれたので、すぐに緊張がとけました」と、ニコニコ顔でおもちゃを片付けます。うさぎ組に入った女子生徒たちも「お姉さん、遊んで!」という

愛らしい声に満面の笑み。「喜んでくれて嬉しい。もっと仲良くなりたい」「将来は保育士になりたいので、先生の仕事をたくさん学びたいです」と、話してくれました。年長のふじ組担当の男子生徒たちは、「愛情のある厳しさをもち、子どもたち全員に目配りしている先生はすごい」と感心しきり。先生の仕事ぶりに刺激を受けながら、園児たちのお世話に奮闘していました。

廊下を走る園児に気付いた生徒が、「危ないから走っちゃダメ!」と慌てて声をかける場面もありました。園児たちの安全に気を配るのも大事な仕事。この体験で、子どもが好きで楽しいだけでは、幼稚園の先生は務まらないことも学んだようです。



番組制作の裏側に興味津々! 初めてのテレビ出演も経験

(株)ジェイコム
札幌

ケーブルテレビ、電話、インターネットのサービスを提供するJ:COMに、好奇心旺盛な男子生徒5名が訪れました。この日は番組収録も体験します。

業務内容の説明を受け、続いてスタジオ見学、LANケーブルの制作体験をし、いよいよ番組収録です。職業体験の感想を話す1分ほどの収録で、これは実際に放送されるとのこと。カメラの前の5名は少し硬い表情でしたが、声を合わせる場面やお辞儀の間合いの相談にチームワークのよさが見えました。数回の練習の後、ついに本番。張りつめた雰囲気の中で上手に話せた生徒たちは、スタッフの方の「一発OKです」の声に安堵の笑みを浮かべます。収録後はすぐに編集です。今撮った映像に演出効果を施

しBGMをつける作業を食い入るように見つめ、説明には真剣に耳を傾けます。「たった1分の映像にも多くの人に関わっています。みんなが心をひとつにし、総合的な考えを持って仕事をするのが大事」という話にも感じるものがあつたようです。また、分かりやすく伝えるための工夫や規則がたくさんあることを知り「今日からテレビの見方が変わると思う」と語る生徒や、プロの仕事ぶりに「頭の回転も行動も早い。見習いたいです」と刺激を受けた生徒もいました。

最後はチラシの封入作業。多くの人々が番組を支えていると知った彼らは、地味な作業も真面目に取り組んでいました。



南郷小学校



Thanks Mail 札幌市東札幌図書館

先日の白石でっち奉公では大変お世話になりました。図書館の仕事で楽しかったことは、予約の本を見つけたり、運ばれてきた本を元の場所に返すことです。大変だったことは、たくさんある本の中から1冊の本を探すことです。私は学校で図書委員会をやっているので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

5年 K・T

おじいちゃん・おばあちゃんへの 思いやりが深まった日

「おじいちゃん、おばあちゃんのこと大好き!」と、口を揃える児童6人が選んだ訪問先は、東札幌にある特別養護老人ホーム「ルミエール」。この施設は規模も大きく、入所している方やショートステイの方、デイサービスを受けに来る方など、利用者は多種多様です。また、地域の人たちとのコミュニケーションづくりにも積極的で、小・中学生はもちろん、近くの幼稚園児も頻繁に受け入れています。それだけに、施設を利用している方たちも小さな訪問者を、まるで孫かひ孫のように歓迎し、遊びに来てくれるのを心待ちにしているそうです。

児童たちは2人一組になり、3フロアに分かれて各利用者のもとへ向か

います。そして、簡単な計算問題や間違い探しなどの頭のトレーニング、折り紙を使った指先の運動、集団での体操やボール遊びなどを、一緒になって楽しみました。でも、車イスに乗った方や障がいの重い方を、職員みんなで介助する様子を間近にすると、子どもたちも仕事の大変さを感じたようです。それと同時に、高齢者に対するいたわりの気持ちや優しさも深まったのでしょうか。「これからは今までよりたくさん、おじいちゃん、おばあちゃんの家に行くようにします」と、明るい笑顔で話してくれました。

特別養護 老人ホーム ルミエール



忙しい医療現場で感じ取った、 仕事のやりがい

医療法人 東札幌病院

病院は人の命を預かる責任重大な職場。それだけに、失敗や気を抜くことは決して許されません。その厳しい仕事の現場を直に見てみたいという思いと、患者さんたちとふれあいたいという思いを胸に、東札幌病院を訪れた4人の児童。「私たちの仕事は、患者さんを家族のように思って接することが、何より大切な。それと患者さんの立場になって、患者さんがしてほしいことに気づくことも大切ね」。ベテラン看護師さんの言葉に妙な顔でうなずきます。

児童たちは、病院内を忙しそうに動き回る看護師さんやスタッフの方々の雰囲気や圧倒され、初めはどうしたらよいのか戸惑った様子でした。で

もベッドシーツの交換や、アルコール消毒液を使ったドアや手すりの清掃、生理食塩水を注射器に詰める模擬体験や、お風呂上がりの患者さんの髪をドライヤーで乾かすお世話、昼食やお茶のポットを各病室に運ぶといった仕事を次々とこなすうちに、少しずつペースがつかめてきたようです。それに、患者さんから「ありがとう」と言われて、「病院を職場体験に選んでよかった!」とうれしそう。児童の中には母親が看護師さんという子や、将来の夢はお医者さんという子もいました。きっと仕事のやりがいを感じ取った有意義な1日になったことでしょう。



学校の図書館とはまるで違う、 業務の大変さを実感

札幌市 東札幌図書館

一般書と児童書を合わせて約8万7千冊の蔵書がある東札幌図書館。大勢の人が利用する区の公共施設で、就労体験にやってきた5人も、たまに来るそうです。程度の差はあっても、やっぱりみんな本が好き。読書感想文を書いたのがきっかけで本好きになった子や、学校の図書委員の子、獣医さんになりたいので鳥類図鑑で勉強するという子もいました。

この日の主な仕事は、返却された本を元の棚に戻すことと、予約の入った本を探すことです。でも、棚がたくさんあるので所定の位置が分からず、みんな、本を抱えたまま行ったり来たりしています。一般書は「習っていない難しい漢字もある」ので、余計に時

間がかかります。さらに、ほかの区の図書館から予約があった本を、それぞれの棚に振り分けるのもすべて手作業です。しかも立ったままの作業なので、意外なほど疲れる仕事だと知りました。「もっと機械化されていると思っていた」と答える児童たちは、図書館の仕事内容や大変さを少し理解したようです。最後はカウンターの中に入って接客の仕事です。返却された本のバーコードを読み取って、パソコンの画面で確認するという体験もしました。

「前よりもっと本が好きになった」と話す児童の、明るい表情が印象的でした。

